

項目	内容
開催日時	平成28年12月27日(火) 14時00分～15時30分
開催場所	久留米商工会館 5階 大ホール
委員等の出欠状況	委員(26名)出席23名<内代理4名>、欠席3名 臨時委員(4名)出席 4名 オブザーバー委員(1名)出席 1名<内代理1名>
議事概要	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 会長挨拶(森副市長)</b> 〔事務局より〕</p> <p>(1) 委員の委嘱・交代等について</p> <p>(2) 委員、臨時委員30名中27名の出席をもって、設置要綱第10条第2項に基づき会議成立を報告</p> <p>(3) 4名の傍聴希望者がいることを報告</p> <p><b>3 議 事</b></p> <p>(1) <u>報告第4号 北野地域よりみちバスの利用状況等について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月末現在の利用状況について説明 これまで3,000人超の利用があるが、1日あたりの利用人数は11.0人となっており、目標の35人には届いていない。利用促進等について、バス停掲示物の更新等(バス停が目立つように変更、分かりやすい時刻表に変更)を行った。</li> <li>・ 今回の数値をもって国庫補助に関する事業評価を行う。</li> </ul> <p>(2) <u>報告第5号 北野地域よりみちバスの事業変更の軽微な変更について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度第5回久留米市地域公共交通会議において、バス停の名称変更や運行ルート上にバス停を設置するといった、利用者の利便性を損なわないような軽微な変更については、変更後に久留米市地域公共交通会議に報告することで足りるとの承認をいただいている。</li> <li>・ 弓削校区の高良地区に「高良2区東」のバス停を設置し、12月1日から運用を開始している。当バス停は運行11日間で14人の利用者がいる。</li> <li>・ 今回の数値をもって国庫補助に関する事業評価を行う。</li> </ul> <p>(3) <u>協議第5号 北野地域よりみちバスの事業計画の変更について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の変更案について説明</li> </ul>

項目	内容
議事概要	<p><b>【運行ルート、便数に関する見直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北野便を大城ますかげセンターまで延伸したことで、大城校区の人にも北野便を利用することができるようになり、毎日北野中心部へ買い物に行けるようになった。また、大城北部からAコープ大刀洗、神代病院へ向かう系統を新設した。</li> </ul> <p><b>【バス停に関する見直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の少ないバス停の要予約化 11カ所、運行ルート変更に伴うバス停移設 3カ所、バス停新設 2カ所、バス停名称変更 2カ所。弓削校区、大城校区、金島校区の一部区間にフリー乗降区間を設定。</li> </ul> <p><b>【ダイヤに関する見直し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間程度確保していた買い物時間を 40分～50分に短縮。</li> </ul> <p><b>【無料乗車の実施、100円券の発行】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り方や時刻表が分かりづらいとの意見があるため、まずは一度乗ってもらいたいと考えている。対象が高齢者のみになる可能性もある。また、地域商店へ来た人に特典としてよりみちバスで使える 100円券を渡すことで利用促進に繋げる施策も考えている。</li> </ul> <p><b>〔主な質疑応答〕</b></p> <p>(委員) 運行ルートに関して、ルートを整理・単純化する一方で延伸も行っている。このことでトータルの運行時間や走行距離はどうなるのか。</p> <p>(事務局) 運行時間については夕方の遅い時間帯を整理したことで運行終了時間は早くなっているが、走行距離に関しては10キロ程度伸びることになる。</p> <p>(委員) 始発から終点までの所要時間はどのように変わったか。</p> <p>(事務局) 一番所要時間の長い北野便は現在1時間15分程度だったものが1時間をきる程度になっている。</p> <p>(委員) 追走便の仕組みはどのようになっているのか。</p> <p>(事務局) よりみちバスは乗車定員9人の車両を使用しており、乗りきれなかった場合に追走便として通常のタクシー車両を使用する。追走便が来るのを待つことはなく、乗車定員9人の車両は先に出発する。</p> <p>(委員) 延伸しても利用が伸びなかったということもよくあることだが、延伸後の利用目標等について地元と協議はしているのか。</p> <p>(事務局) 変更内容については地域の生活交通検討会で説明をしている。延伸後の利用者目標等については設定していない。</p>

項目	内容
議事概要	<p>今後の利用状況を見て判断したい。</p> <p>(委員) 一方通行(片回り)のルートについて、道路の幅員の関係でやむを得ないとの判断をしたのか。</p> <p>(事務局) 片回りの方が利用者にとって利便性が高いとの判断をしているが、地元からの要望等があれば変更することも考えている。</p> <p>(委員) 利用者の年齢層はどのようになっているか。</p> <p>(事務局) 統計は取っていないが、運転手からの話によると、高齢者が多い。城島地域で以前行っていた「デマンド乗合タクシー」と利用者層はほぼ変わっていないようで、特に女性の利用が多くなっている。</p> <p>(会長) 1日あたりの利用目標数35人という数値について、設定根拠はあるのか。</p> <p>(事務局) 具体的に根拠はないが、「乗り合っている状態=1便あたり1.5人」を想定しているため35人という数値になっている。</p> <p>(委員) 地域包括支援センターやケアマネージャーのいる事業所等への声掛けやアンケート等は行っているのか。</p> <p>(事務局) 具体的なことは行っていないが、地域の振興会では地元の人達に声掛けを行ってもらっている。また、今後体験乗車等の際にデータを取る等の取り組みを行いたいと考えている。</p> <p>(会長) 北野地域生活交通検討会からも出席いただいているが、何か意見があればお願いしたい。</p> <p>(委員) 若者は車を利用するのでよりみちバスに乗らない。利用が増えるにはまだ少し時間が必要だと感じている。大きく利用は増えていないが微増しているといことは感じる。今後も努力していきたいと考えているのであと少し時間をいただきたい。</p> <p>(委員) 利用を増やすためにはドアツードアでないといけない。小郡市では自治会バスを運営している。小郡市が車両を無償で自治会に貸与しており、運賃は無料でやっている。高齢者にとってはバス停まで歩いていくこと自体が負担になっている。久留米市も小郡市の自治会バスを参考に見てみてはどうか。</p> <p>●協議第5号は協議の結果、議案通り承認する。</p>

項目	内容
議事概要	<p>(4) <u>報告第6号 城島地域よりみちバスの利用状況等について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月末現在の利用状況について説明                      これまで2,500人超の利用があるが、1日あたりの利用人数は11.5人となっており、北野地域と同様に、目標(30人)には届いていない。利用促進を図るため、これまで運行していたデマンド乗合タクシー利用者へ戸別訪問し、よりみちバスの説明を行った。また、北野地域と同様にバス停が目立たないとの意見が多かったため、目立つように変更を行った。</li> <li>・ 報告第5号と同じく、国庫補助活用に関して事業評価が必要となる項目については、これまで会議で報告した事項をもって事業評価を行う。</li> </ul> <p>(5) <u>協議第6号 城島地域よりみちバスの事業計画の変更について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の変更案について説明</li> </ul> <p>【運行ルート、便数に関する見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犬塚駅終点だったものを全便「ゆうゆう(三潁総合福祉センター)」終点に変更。時分にも大きな影響はない。また、犬塚駅までの運行を1日4往復から5往復に増便。</li> </ul> <p>【バス停に関する見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃止のバス停4カ所(廃止理由として、利用がほとんどないこと、ルートの集約を行ったことがある)、利用の少ないバス停の要予約化14カ所、運行ルート変更に伴うバス停移設を1カ所、バス停新設3カ所。</li> </ul> <p>【ダイヤに関する見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1時間程度確保していた買い物時間を40分～50分に短縮。</li> </ul> <p>【無料乗車の実施、100円券の発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北野地域と同様に、乗り方や時刻表が分かりづらいとの意見があるため、まずは一度乗ってもらいたいと考えている。対象が高齢者のみになる可能性もある。また、地域商店へ来た人に特典としてよりみちバスで使える100円券を渡すことで利用促進に繋げる施策も考えている。</li> </ul> <p>[主な質疑応答]</p> <p>(委員) 利用者の多くは高齢者だと思うが、高齢者のニーズを把握するためにも福祉との連携が大切だと思う。</p> <p>(会長) 城島地域生活交通検討会からも出席いただいているが、何か意見があればお願いしたい。</p>

項目	内容
議事概要	<p>(委員) 福祉車両を実際に見たが、よりみちバスとの大きな違いは補助ステップの有無で、よりみちバスには補助ステップがついていないため高齢者が乗るときに苦勞している。また、乗り降りする際に手すりもないため高齢者には大変だと思う。手押し車をよりみちバスに寄せようとすると、折りたたみ式のものしか寄せられないと言われたようで、それらの点について今後改善してもらえれば。</p> <p>(事務局) 補助ステップや手すりは北野地域の車両にはあるが城島地域の車両にはついていない。今後運行事業者と協議していきたい。</p> <p>(委員) 要支援の人達が介護保険の対象外になると外出の機会が減り認知症の進行が早まることも考えられる。そうならないためには、そういった人達が外出する機会を作らないといけないが、そのために補助ステップや手すりは必要だと思うのでぜひお願いしたい。</p> <p>(委員) 利用促進策について、例えば、孫と出かけると割引をしてもらえたり、転勤してきた人達へよりみちバスについての啓発を行ったりすることも有効なのではないか。</p> <p>(委員) 昔は路線バスが通っていたが廃線になってしまったので久留米市の中心部へ行く際にはマイカーで行くようになった。現在はよりみちバスが犬塚駅まで行くのでそれに乗って中心部まで行ける。今後、三潁の福祉センターまでよりみちバスが行くようになればさらに利用が増えると思う。引き続き利用促進に取り組んでいきたい。</p> <p>(委員) 北野地域では大刀洗町まで乗り入れているが、城島地域ではそのような他市町へ行きたいという要望はなかったのか。</p> <p>(事務局) 大川市へ行きたいという要望はあるが、そちらへ行くと城島地域内の運行が手薄になってしまうことから、今のところ大川市への乗り入れは難しい状況。ただ、佐賀県みやき町のスーパーへ行くために一部乗り入れを行っている。</p> <p>●協議第6号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>4 その他            次回会議は3月下旬を予定している。            4月に北野地域、3月に城島地域のダイヤを改正する予定にしている。</p>

項目	内容
議事概要	5 閉会  (以下余白)

平成28年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
1	第1号	久留米市	副市長 森 望	◎	
2	第2号	西鉄バス久留米株式会社	常務取締役営業本部長 亀崎 元治	◎	
3	第2号	堀川バス株式会社	取締役統括部長 田中 智太郎	◎	
4	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	◎	
5	第3号	九州旅客鉄道株式会社 久留米鉄道事業部	部長 香川 憲次	○	鉄道事業部 企画課長 篠原 基樹
6	第3号	西日本鉄道株式会社鉄道事業本 部営業企画部	計画課長 川津 匡宏	◎	
7	第4号	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事 中川原 達也	◎	
8	第5号	福岡県筑後地区タクシー協会	会長 中川 恵司	◎	
9	第5号	久留米市タクシー協会	会長 浅倉 武巳	◎	
10	第6号	久留米市校区 まちづくり連絡協議会	会長 古賀 秀心	◎	
11	第6号	久留米 男女共同参画推進ネットワーク	事務局長 吉岡 マサヨ	◎	
12	第6号	NPO法人 ル・バトー	理事 佐々木 久美子	○	理事 村井 麻木
13	第6号	NPO法人 高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎	
14	第6号	子育て支援団体 もーりえ	代表 田町 菜穂子	◎	
15	第7号	国土交通省 九州運輸局福岡運輸支局	支局長 西 正博	○	首席運輸企画専門官 河津 隆幸
16	第8号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部副執行委員長 箴島 健嗣	◎	
17	第9号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 野村 文彦	×	
18	第9号	福岡県県土整備部 久留米県土整備事務所	地域整備主幹 神谷 伊宣	◎	
19	第9号	久留米市都市建設部	部長 上村 一明	◎	
20	第10号	久留米警察署	交通第一課長 井上 秀晴	○	交通規制係長 古川 誠一
21	第10号	うきは警察署	交通課長 東 幸一郎	◎	
22	第11号	福岡大学工学部	教授 辰巳 浩	◎	
23	第11号	大分大学経済学部	准教授 大井 尚司	◎	
24	第12号	福岡県企画・地域振興部 交通政策課	係長 堺 裕之	◎	
25	第12号	久留米商工会議所 中小企業相談所地域振興課	課長 古家 美恵子	×	
26	第12号	久留米市身体障害者福祉協会	事務局長 酒井 良実	×	

平成28年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
27	臨時	城島地域生活交通検討会	座長 田本 栄之	◎	
28	臨時	城島地域生活交通検討会	副座長 鷺頭 光子	◎	
29	臨時	北野地域生活交通検討会	座長 田中 和義	◎	
30	臨時	北野地域生活交通検討会	委員 鐘ヶ江 一枝	◎	
—	ワザバー	国土交通省九州運輸局企画観光部交通企画課	課長 前川 翔	○	交通企画課 専門官 鐘ヶ江 伸一

【◎出席、○代理、×欠席】